

ウォーターボトル

取扱説明書

AJB-1000シリーズ

このたびは、当社のウォーターボトルをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用いただけますよう、お願いいたします。また、本書は、万が一ご使用中にわからなくなったときに役に立ちますので、いつでもみられるところに大切に保管してください。

ご使用の前に

- はじめてご使用になる前に本体のキズ・凹み、ふたユニットにひびわれなどの不具合がないことをご確認ください。
- 側面の製造ロットシールは、はがさないでください。
- はじめてご使用になるときは、本体内側・ふたユニットを水やぬるま湯でよく洗ってください。

●各部のなまえ

※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ふた
ユニット

本体

MADE IN CHINA

△ お手入れ上の注意

- ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗いおとし完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。
- 改造・修理・分解は絶対にしないでください。
破損、事故の原因になります。
- ふたユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。
お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態でおこなってください。
- 本体・ふたユニットの浸け置き洗いなどはしないでください。

- シンナー、クレンザー、金属たわし、化学雑巾などは使用しないでください。
キズや破損の原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。
破損の原因になります。
- 本体を洗った後は、すぐに水分をふき取ってください。
水滴の跡が残ったり、カビやものを汚す原因となります。
- 本体やふたユニットの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機などのご使用はおやめください。
変形や漏れの原因になります。

製品仕様

品番	AJB-1000
品名	ウォーターボトル
材料の種類	本体 PETG樹脂(アクリル樹脂塗装) ふたユニット(外側) ステンレス鋼 ふたユニット(内側) ポリプロピレン パッキン シリコンゴム
容量	1.0L
通常使用容量	900mL

耐熱温度

本体	60℃
ふたユニット(内側)	100℃
パッキン	180℃

■ 交換部品



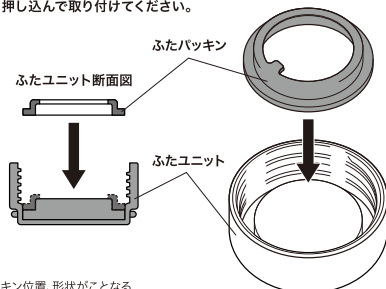
ふたユニット パッキン

パッキンの取り付けかた

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。お手入れなどでふたパッキンを取りはずした後は、正しく取り付けてください。

ふたパッキンの取り付け方

ふたユニットの平らな面を下にして、しっかり押し込んで取り付けてください。



注意：パッキン位置、形状がことなることが御座います。現物の確認をお願いします。

お問い合わせ

表示者 株式会社アトラス
〒192-0046
東京都八王子市明神町4-7-15 落合ビル2F

TEL. 042-660-8870
受付時間/9:00~18:00月~金曜日
(祝日・弊社休業日を除く)
お客相談窓口
<https://www.atlas-scm.jp/>

品質は万全を期しておりますが、万が一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店または上記お客様相談窓口までご連絡ください。

●部品は消耗品です。1年を目安に傷、損傷などが無いかを確認し不具合がある場合は使用をやめ、部品交換してください。

交換部品のご購入はこちらから
アトラスオンラインショップ
<https://www.atlasonline.jp>



△ ご使用上の注意



警告

- 60℃以上の飲みものは絶対に入れないでください。
- 車内や直射日光の当たる場所等、高温になるところに長時間放置しないでください。
飲みものの温度が上がリ、圧力上昇により飲みものが噴き出してものを汚す原因になります。
- 落下などの衝撃をさけてください。
変形やわれ、本体またはふたユニットの破損原因になります。

- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。
- ふたを閉めるときは、本体を傾けたりしないでください。
- 飲み終わったら、本体を立て、ふたユニットを確実に閉めてください。
閉め方が不十分ですと傾けたとき、飲みものが漏れ、ものを汚す原因になり危険です。
- ボトルや取っ手を持って振ったり振り回すのはやめてください。
- 冷凍庫に入れて使用しないでください。
破裂するおそれがあります。
- 飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。
- 飲みものの量は、ご使用方法の2を参考にしてください。
入れすぎるとものを汚す原因になり危険です。ふたユニットを開け閉めしたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いて入れてください。
- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
やけどや製品の変形や変色の原因になります。
- 電子レンジで加熱しないでください。
ケガや事故、破損の原因になります。
- お茶などは早めにお飲みください。
長時間保存するとお茶の色や味が変わります。
- 飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散することがあります。
- 運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。

ご使用方法

ご使用の前に

- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、修理・分解はせずにご使用をおやめください。

1 ふたユニットをはずす

ふたユニットをはずす。

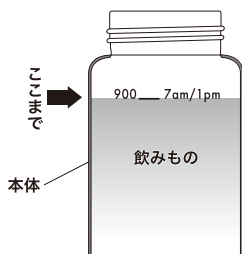
まわす



2 飲みものを入れる

飲みものの量は、下図の

■ 900 — 7am/1pm 部までにしてください。入れすぎるとふたユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。
入れすぎた場合は、減してから、ふたユニットを開めてください。



● 次のものは絶対に入れないでください。

- アルコール類
- ドライアイス・炭酸飲料
内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がリ、ふたユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、ふたユニットが破損して飛散する原因になります。
- お茶の葉・果肉
すき間などににつき、漏れてものを汚す原因になります。

- においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
お手入れ方法に従って汚れやにおいを落とすことと、十分に乾燥させてください。

- 製品の構造上、湿度が高いときにふたと本体に水滴がつく場合があります。ご注意ください。

- バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。

万一の漏れを防ぎます。

- バッソコ・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

- 持ち運ぶ際は、ふたユニットが確実に固定されていることを確認して本体を持ってください。

ふたユニットを持つと、ふたユニットがはずれて水漏れや破損するおそれがあります。

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジでおこなってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

ぬるま湯で薄めた食器用洗剤を柔らかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたユニット

ふたユニットは丸洗いでできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

ふたパッキン

ふたパッキンをふたユニットから取りはずし、ぬるま湯で丸洗いし、乾いた布で水分を拭き取ってください。

3 ふたユニットを閉める

ふたユニットを閉める。



4 ふたユニットを開けて飲みものを飲む

ふたユニットを開けて、ゆっくり傾けながら飲みものを飲んでください。



5 飲み終わったら

飲み終わったら本体を立て、ふたユニットを開める。

* ふたユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ものを汚す原因になります。

